

# いばらきフォローアップ問題 算数 第13回

( )年 ( )組 ( )番 氏名

1 次の計算をしましょう。

★

(1)  $\frac{8}{9} - 0.6$

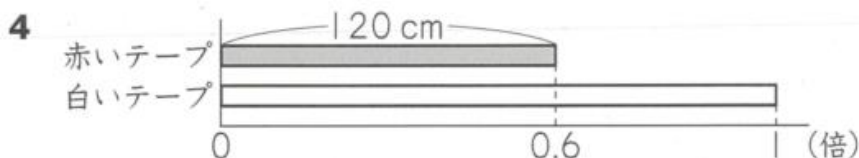
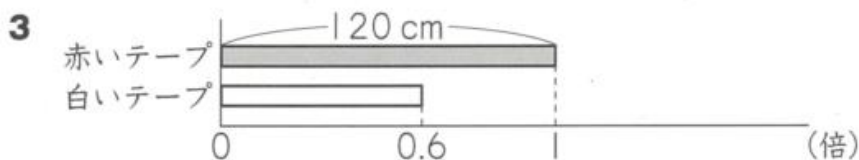
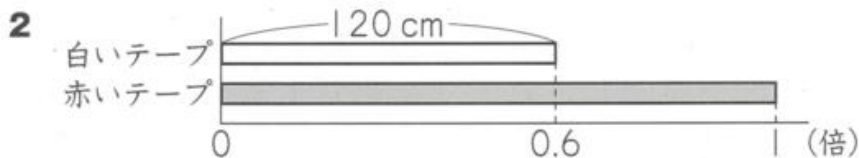
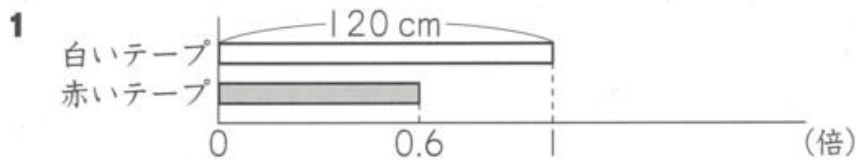
(2)  $17 \div 2.3$  (商を $\frac{1}{10}$ の位まで求めて、あまりもだしましょう。)

2 赤いテープと白いテープの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテープの長さは120 cmです、  
 赤いテープの長さは、白いテープの長さの0.6倍です。

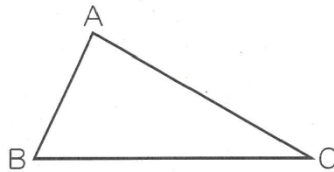
赤いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

★★



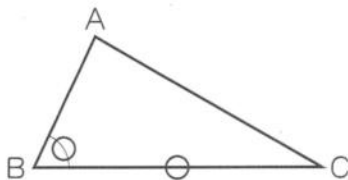
- 3 りんごジュース 4 L とオレンジジュース 2.4 L を、いくつかの同じ容積のびんにそれぞれ分けていきます。どのびんも満ばいにし、残りがでないようにします。びんの数を一歩少なくするには、容積が何 dL のびんを使えばよいでしょうか。 ★★★

- 4 下の三角形 ABC と合同な三角形をかくために、三角形 ABC のどの辺の長さや角の大きさを測ればよいかを考えます。

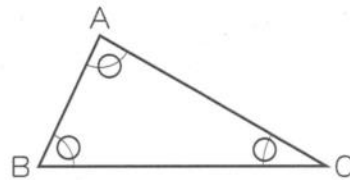


次の 1 から 4 は、辺の長さや角の大きさを測るところに○の印をつけたものです。三角形 ABC と合同な三角形をかくことができるものを 1 つ選んで、その番号を書きましょう。 ★

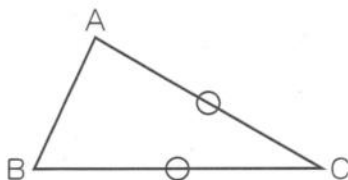
1



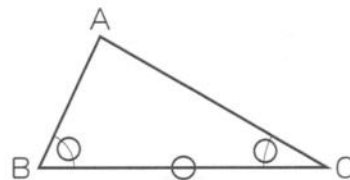
2



3



4



- 5 ある会場に子どもたちが集まりました。集まった子どもたち 200 人のうち、80 人が小学生でした。小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 0.4%
- 2 2.5%
- 3 40%
- 4 80%

★★

- 6 110 g の箱に 1 個 60 g のおかしを入れていきます。  
おかしの数  $\bigcirc$  個と全体の重さ  $\Delta$  g の関係を式に表しましょう。

★★★

- 7 140 円のクリームパンと 170 円のメロンパンと 280 円の食パンを買います。700 円で足りるかどうか見積もるために、およその数にして計算するとき、どのような式をつくって計算しますか。  
式を書いて計算し、「700 円で足りる」か「700 円では足りない」かのどちらかを選び  $\bigcirc$  で囲みましょう。

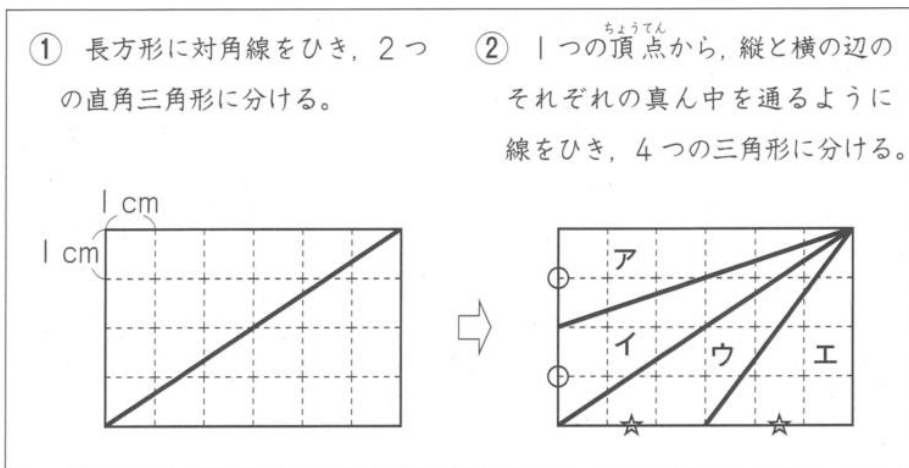
★★★★★

### 記述式問題【事実の説明】

- 8 長方形の面積を 4 等分する分け方を考えています。  
たかしさんは、下のような分け方を考えました。



#### たかしさんの分け方



たかしさんの分け方を見て、なおみさんが次のように言いました。

三角形 **ウ** と **エ** は、☆の部分<sup>☆</sup>を底辺とすると、どちらも底辺が 3 cm、高さが 4 cm です。  
だから、三角形 **ウ** と **エ** の面積は等しくなります。



たかしさんは、なおみさんの説明を聞いて、三角形 **ア** と **イ** の面積も等しくなることに気がつきました。

三角形 **ア** と **イ** の面積が等しくなることを、言葉と数を使って書きましょう。

★★★★★

### ヒント

- 8 三角形の面積は何で決まるか考えてみましょう。

令和5年度

# いばらきフォローアップ問題 算数 第13回 解答用紙

( )年( )組( )番 氏名

---

1	(1)	(2) あまり
2		
3	dLのびん	
4		
5		
6		
7	式と計算 <u>700円で足りる</u> ・ <u>700円では足りない</u>	
8		

いばらきフォローアップ問題 算数 第13回 解答

( )年( )組( )番 氏名

1	(1) $\frac{13}{45}$	(2) 7.3 あまり 0.21
2	4	
3	8 dLのびん	
4	4	
5	3	
6	$60 \times \bigcirc + 110 = \triangle$	
7	<p>式と計算</p> $200 + 200 + 300 = 700$ <p style="text-align: center;">700円で足りる ・ 700円では足りない</p>	
8	<p>(正答例1) <u>底辺と高さの具体的な長さを使って、面積が等しくなることを書いている。</u>                  三角形アとイは、○の部分の底辺とすると、どちらも底辺が2cm、高さが6cmです。だから、三角形アとイの面積は等しくなります。</p> <p>(正答例2) <u>三角形アとイの面積を求めて、面積が等しくなることを書いている。</u>                  三角形アは <math>2 \times 6 \div 2 = 6</math> で、6cm<sup>2</sup>です。三角形イは <math>2 \times 6 \div 2 = 6</math> で、6cm<sup>2</sup>です。だから、三角形アとイの面積は等しくなります。</p> <p>(正答例3) <u>長方形の半分の直角三角形の面積を基に、三角形アまたはイの面積を求めて、面積が等しくなることを書いている。</u>                  三角形アとイをあわせた面積は、 <math>6 \times 4 \div 2 = 12</math> で、12cm<sup>2</sup>です。                  三角形アは、 <math>6 \times 2 \div 2 = 6</math> で6cm<sup>2</sup>で、三角形イは、 <math>12 - 6 = 6</math> で、6cm<sup>2</sup>になります。                  だから、三角形アとイの面積は等しくなります。</p>	

<8の答え方のポイント>

三角形の面積は、底辺と高さで決まるので、底辺と高さに着目して説明できるようにしましょう。  
また、三角形がどのような向きで示されていても、底辺と高さの関係に着目できるようにしましょう。  
例えば、下の図の4つの三角形において、どの部分が底辺や高さになるか考えてみましょう。

